



仁保の郷は南北16km東西8kmで中央には仁保川が流れ、その両側には水田が広がっていて、古代土器が出土するなど古くから人々が暮らしていたことが知られています。

中世には源頼朝の家臣平子氏が関東から仁保に赴き平子、仁保、三浦と氏称を変えながら統治しました。明治以降は邑から仁保村へ、そして大内町・山口市へとその治世を変えながら現在に至っています。

このような仁保の郷には各地に神社仏閣などが多くあり、人々は自然を畏敬し神仏を信仰して暮らしてきました。

また仁保の人たちは災害から身を守り、暮らしを便利で豊かにするために、道を広げ河川を保全し、水路や田んぼを整備し、そしてその偉業を後世に伝えるために石碑を建てました。

そこで私たちの暮らしを守ってきた仁保の神仏と、偉業を伝える石碑・遺構を紹介しましょう。

仁保自治会

山口市仁保中郷1041番地
083-929-0125

神様



舟山八幡様



深野八幡様

鎌倉時代、舟山八幡様は幕府から仁保の地頭職に任じられた平子氏が、鎌倉の鶴岡八幡宮から勧請して建立し、現在の社殿は1613年毛利輝元が再建したもので、地区の郷社となっている。

仁保での在所（仁保市）

深野八幡様は福岡県の筥崎八幡宮から分霊し建立されたもので、宝物の大般若経は1396年に平重直が奉納したものである。
仁保での在所（深野）

1

八幡様



井開田天神様

平安時代、大宰府に左遷された菅原道真の祟りを鎮めるために朝廷が天満宮を建立したのが始まりで、その後は学問の神、慈悲の神、正直の神として信仰されるようになった。

井開田天神様には1815年の年号があり、それ以前に防府天満宮から勧請されたようである。

仁保での在所（井開田・大島・一貫野・仁保市・東園）

2

天神様



大島 妙見様



高松 妙見様

妙見信仰は、天の中心にある北極星や北斗七星が信仰の対象で、宇宙の根源を司る神様である。

その昔、大内氏ゆかりの琳聖大使が、お告げにより下松に上陸した際、妙見社を611年建立して北斗七星を祀ったと伝えられ、その後各所に神社が建立された。

仁保での在所（大島・高松・野上）

3

妙見様



高野 諏訪様



高野 諏訪様

高野にある諏訪様は大島の妙見様、高松の妙見様とともに仁保3古社の中の一社で、長野県の諏訪大社を総本社としている。

諏訪様は狩猟・漁業・農業を守護する神で、以前、高野は鷹野とよばれ、この一帯では鷹狩りが行われていたので、狩猟にまつわる諏訪社が建立された。

仁保での在所（高野）

4

諏訪様



一貫野 宮島様（厳島神社）



一貫野 宮島様（厳島神社）

広島湾の宮島は、古代から島そのものが神として信仰され、6世紀末、天皇の勅許を得て豪族が社殿を造営したが、その後、平清盛が平家一門の守護神として崇敬した。

江戸時代になると民衆からも信仰され、そのため全国各地にも勧請されて多くの社が造営されている。

仁保での在所（上山・金坪・大島・一之瀬・一貫野）

5

宮島様



東園 人丸様



東園 人丸様

柿本人麿呂を祀る神社で、歌道を始めとする学問や農業の神・疫病除難の神として、信仰を集めている。

また、「人麿呂（ひとまる）」を「火止まる」や「人産まる」と読み替え、火防や安産の神として崇拜されている。

東園にある人丸様は石造りで、内に人丸神が鎮座されている。

仁保での在所（上山・北河内・高島・原河内・一貫野・野上・東園）

6

人丸様



堀山 足王様



堀山 足王様

足王様は足の病氣や怪我にご利益があるとわれ、ご神体は足の神様である足王権現が祀られている。

足王様は医学が進歩していない時代はもちろん、現在でも地区や近郷の人々に信仰され、年間を通じて参拝者が多い。

仁保での在所（堀山・一貫野）

7

足王様



仁保市 稲荷様



大島岩倉 稲荷様

稲荷様は京都の伏見稲荷大社が総本山で、全国各地に多く祀られている。赤い鳥居と白い狐がシンボルで「稻生」「稻成」と表示されているものもある。

稲荷様は食物・農業・商業・殖産興業をはじめ屋敷の神様として、個人や企業など広く信仰を集めている。

仁保での在所（大島・仁保市）

8

稲荷様



一之瀬 月読様

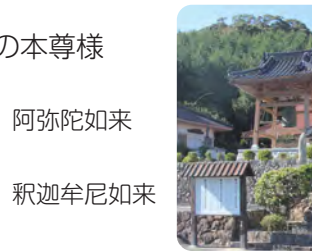
月読様は長崎県杵岐の神社に祀らせたのが始まりで、歴史も古く格式のある神社である。

月読神は最初海上の神であったが、その後農耕の神としても崇拜された。一ノ瀬の名古脇にある月読社は、明治初年に山口の多賀神社から奉祀、創建された。

仁保での在所（一之瀬）

9

月読様



土井 源久寺

仁保の寺の本尊様

源久寺

本尊 阿弥陀如来

法雲院

本尊 釈迦牟尼如来

玄筥院

本尊 釈迦牟尼如来

皇徳寺

本尊 虚空蔵菩薩

信行寺

本尊 阿弥陀如来

教林寺

本尊 阿弥陀如来

源久寺の由来…

鎌倉時代、仁保の地を治めていた平

子重経が、源頼朝の菩提を弔うために

寺院を建立し、寺号は源家の永久安泰

繁栄を願って源久寺とした。

仁保での在所（大島、高島、坂本、仁保市）

11

お寺の本尊様



高島 皇徳寺 釈迦堂



お釈迦様

お釈迦様は、紀元前6世紀ごろインドの北の王国の王子として生まれ、生老病死の苦しみを解決するために、29歳で出家し厳しい修行の結果、35歳で悟りを開いて仏教の開祖となった。お釈迦様は仏様

の中で唯一の実在の人物であり、人々を救済してくれる仏として崇められるようになった。

仁保での在所（大島、高島、坂本、仁保市）

12

お釈迦様



坂本 地藏様



丸山 六地藏様

お地藏様は、苦悩する人たちを慈悲で救う仏様として信仰された。

特に「子供の守り神」として信仰され、仁保ではほとんどの集落に鎮座されている。

また、六地藏様は仏教の輪廻の思想で、全ての生物は6つの世界に生まれ変わり、この6つの世界の人々を六地藏様が救うとされていて、墓地の入口に多く祀られている。

13

お地藏様



北河内 疣地藏様

北河内の県道沿いにあり、疣が治るといふ霊驗あらたかな地藏様である。

疣地藏様は疣ができた本人が祈願しても治らないが、人に頼んで祈願してもらおうと不思議に疣が取れると言われており、多くの人が参詣をしている。

仁保での在所（北河内）

14

疣地藏様



松柄 金毘羅様

金毘羅様は、海上交通の守り神として信仰され全国に広まった。

松柄の金毘羅様は、18世紀初頭、山口の岡本四朗左衛門が北越の海で遭難した時、金毘羅様に祈り無事帰還できたため、当時、仁保香の石にあった瑠璃光寺から松柄に勧請したと伝えられている。

仁保での在所（松柄・上山・高松）

15

金毘羅様



堀山 薬師様



堀山 薬師様

薬師様は諸々の病氣を治し、安楽を与える仏様である。

薬師様（如来）の持っている薬壺には体の病、心の病、社会の病をすべて治してしまう霊薬が入っており、人々を病から救ってくれる仏様として信仰されている。

特に仁保では眼病の仏様として信仰が篤い。

仁保での在所（上山・原河内・一貫野・両浴）

16

薬師様



大島 岩倉観音様



北河内 大嶽観音様

観音様はインドから三蔵法師が伝来したものとと言われて、観世音菩薩や観自在菩薩とも呼ばれている。經典、般若心經の冒頭にも登場する菩薩で「苦しんでいる人を救う」仏様として信仰され、仁保地区では各所に祀られている。

仁保での在所（上山・大島・一之瀬・北河内・高島・井開田・坂本・一貫野・野上・両浴・仁保市・土井・高松・東園・深野）

17

観音様



金坪 25番礼場



深野鎌山 69番礼場

弘法大師が祀られ、仁保地区にも88箇所があって親しまれている仏様である。

四国88箇所は有名だが、弘法大師は若い頃、四国の山中で山道修業をして法の智慧を得たとされ、遍路のもととなっている。

仁保でも各所にあって、8月に「お接待」が行われている。

18

お大師様



原河内坂本 秋葉様



原河内坂本 秋葉様

秋葉様には火除けや火伏せの神として、秋葉大権現が祀られている。

秋葉権現様は神様の姿になって現れ、民衆を火災の苦しみから救うという仏教を守る神様と言われている。

秋葉様は神社の社屋のほかに、燃えにくい石づくりの祠や寺院にも祀られている。

仁保での在所（金坪・北河内・原河内・坂本・丸山・東園・深野）

19

秋葉様



仁保の地には、このほかにも多くの神様・仏様が鎮座されている。

河内様、厄神様、行者様、恵比寿様、山の神様、霊神様、八王子様、黄播様、聖様、般若様、明神様、不動様、毘沙門様、水崎様、弁天様、客人様、地主様、水神様、庚申様、賽の神様、癒守様、狼森様、杜様、恵比寿様、こくどう様、山神様、ゆが様、三鬼様、祇園様、山ノ神様、猿田彦様、御坊様、柊様、石槌様、宇賀様、五書様、若宮様、大山毘羅様、石ヶ壺様、山王様、大森様、妙音菩薩様、権現様、大蔵様、阿弥陀様 ほか

そのほかの神様・仏様

